



収穫した大根を天日で干す冬の風物詩「大根やくら」



女性らしさを生かして
農業のイメージを変えたい。
可能性はきっともっと広がる。



外国人研修生と畑仕事



初美さんとご子息の直人さん。直人さんは頼もしいビジネスパートナー。事業についていろいろなアイデアを提供してくれます。



南薩地域の女性農業者たちとの勉強会。自宅を開放して、和やかな雰囲気の中、意見を出し合いました。



大根漬「3Free」は
醤油・白醤油・梅酢の3つの
フレーバーがあります。

「一般的に農家＝家族経営というイメージがあるかもしれませんが、我が家では外国人研修生を受け入れています」と初美さん。
受け入れは、経営面をサポートしてくれている直人さんの協力で実現しました。人数が増えたことで畑仕事の効率が飛躍的に向上し、さまざまな事業展開ができるようになってきたそうです。また、研修生の農業技術指導にも取り組んでいて「日々成長していく姿を見ると嬉しくなります。今ではまるで我が子のような存在です」と優しい笑顔で話してくれました。

外国人研修生の受け入れで 広がる事業展開

南九州市知覧町で、農業と大根漬の生産・販売を行う大隣初美さん。大根漬を商品化したのは5年前ですが、自分が見たものを加工して販売する夢は20年前からずっと温めていたそうです。そのきっかけは、毎年行っている農業体験。子どもたちに自家製の「大根漬をふるまうと、「お土産に欲しい」と言われるほど好評でした。それから子どもたちに安心して安全なものを食べさせたいという思いが強くなり、畑仕事の合間に飛び込み営業をして、自分の思いを理解してくれる地元漬物会社を探し

20年温めていた 加工品販売を実現



今回の農家

大根・サツマイモ・葉タバコ農家

取材協力

おとなり ほつみ
大隣 初美さん

結婚を機に就農。現在は農業のほか、自社商品「大隣屋」知覧やくら大根漬の生産・販売も手がける。



明日の農業を担う 若手就農者のために

初美さんは長年、世間の農業に対するネガティブなイメージを払拭したいと考えていました。毎日お化粧をしたり、お洒落な作業着を着たりして畑仕事に勤しむスタイルを提唱し、若い人たちが農業に関心を持つための後継者育成にも力を注いできました。「目標は多くの人に農業の魅力を伝え、就農者を増やすこと。そのために就農しやすい環境を整えるだけでなく、新たな農業の可能性を提案したい」。

初美さんの取り組みはこれからも続いていきます。その輝きは、農業に携わる女性にとって大きな支えとなってくれることでしょう。

始めました。「もちろん最初は勇気がいりましたが、昔から足繁く参加していた県の研修会などで学んだことで自信がつき、新たな挑戦を後押ししてくれました」と初美さんは話します。5年前、満を持して合成着色料・合成保存料・合成甘味料不使用の「初美(はみ)ちゃんのみごころ漬」を発売。ほどなくしてUターンしたご子息・直人さんの提案で、安全面へのこだわりを前面に押し出した「3Free」というスタイリッシュなネーミングとパッケージデザインに変更したことで、子育て世代の女性の間で売上が伸びたといいます。現在、地元を中心に4店舗で商品を販売しています。

EVENT

＼農業を始めた方におすすりめ！/
かごしま就農・就業相談会

- 開催日 平成30年7月28日(土)
午前10時～午後4時
- 場所 かがしま県民交流センター
(2階大ホール)
鹿児島市山下町14-50
- 問い合わせ先 公益社団法人鹿児島県農業・農村振興会
Tel 099-213-7223